

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO iDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2026年第37週
(9月7日～9月13日)

- * 2026年9月16日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<https://survey.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>
- * 今週は感染症豆知識「人獣共通寄生虫 トキソプラズマ」も掲載しています。
- * 次回は2026年9月28日に発行予定です。

令和8年(2026年)9月17日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213 (直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：tmiph@section.metro.tokyo.jp

全数把握対象疾患 報告数（一類～四類）

2026年37週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				
		34週	35週	36週	37週	年累計
一類	エボラ出血熱					
	クリミア・コンゴ出血熱					
	痘そう					
	南米出血熱					
	ペスト					
	マールブルグ病					
	ラッサ熱					
二類	急性灰白髄炎					
	結核	51	47	50	44	1,556
	ジフテリア					
	重症急性呼吸器症候群 ^{*1}					
	中東呼吸器症候群 ^{*2}					
	鳥インフルエンザ(H5N1)					
	鳥インフルエンザ(H7N9)					
三類	コレラ					
	細菌性赤痢	1	1			16
	腸管出血性大腸菌感染症	17	26	16	12	359
	腸チフス					9
	パラチフス		2		1	5
四類	E型肝炎	2	6		3	131
	ウエストナイル熱					
	A型肝炎	9	11	7	1	130
	エキノコックス症				1	1
	エムボックス	2	3	5	3	110
	黄熱					
	オウム病					
	オムスク出血熱					
	回帰熱					
	キャサヌル森林病					
	Q熱					
	狂犬病					
	コクシジオイデス症					4
	ジカウイルス感染症					
	重症熱性血小板減少症候群 ^{*3}					1
	腎症候性出血熱					
	西部ウマ脳炎					
	ダニ媒介脳炎		1			1
	炭疽					
	チクングニア熱		1			2
	つつが虫病					
	デング熱	1	2	4	5	31
	東部ウマ脳炎					
	鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)					

*1 病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。

*3 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

分類	対象疾患					
		34週	35週	36週	37週	年累計
四 類	ニパウイルス感染症					
	日本紅斑熱	1			1	4
	日本脳炎					
	ハンタウイルス肺症候群					
	Bウイルス病					
	鼻疽					
	ブルセラ症					1
	ベネズエラウマ脳炎					
	ヘンドラウイルス感染症					
	発しんチフス					
	ボツリヌス症					
	マラリア					9
	野兎病					
	ライム病					1
	リッサウイルス感染症					
	リフトバレー熱					
	類鼻疽					
	レジオネラ症	3	11	3	2	129
	レプトスピラ症					3
	ロッキー山紅斑熱					
2026/9/16集計						

（全数把握対象疾患のコメント：一類～五類）

＜二類感染症＞

結核 44件 患者 19件(肺結核 11件、その他の結核 8件)、無症状病原体保有者 25件、年齢は10代 3件、20代 12件、30代 2件、40代 1件、50代 5件、60代 3件、70代 7件、80代 7件、90歳以上 4件、推定感染地は国内 21件、ミャンマー 3件、インド 2件、ネパール 2件、国内又は中国 1件、不明 15件であった。

＜三類感染症＞

腸管出血性大腸菌感染症 12件 患者 11件、無症状病原体保有者 1件、血清型・毒素型はO91 VT1 1件、O157 VT1・VT2 5件、O157 VT1 1件、O157 VT2 2件、O型別不明VT1・VT2 1件、O型別不明VT2 1件、O型別不明VT(型不明) 1件、年齢は5～9歳 3件、10代 2件、20代 3件、30代 3件、50代 1件、推定感染地は国内 8件、韓国 2件、不明 2件、推定感染経路は経口感染 8件、不明 4件であった。

パラチフス 1件 患者、年齢は30代、推定感染地はインドネシア又はミャンマー又は台湾、推定感染経路は経口感染であった。

＜四類感染症＞

E型肝炎 3件 患者 3件、年齢は30代 1件、50代 2件、推定感染地は国内 2件、不明 1件、推定感染経路は不明 3件であった。

A型肝炎 1件 患者、年齢は40代、推定感染地は不明、推定感染経路は不明、A型肝炎ワクチン接種歴は不明であった。

エキノコックス症 1件 病型は多包条虫、年齢は60代、推定感染地は国内、推定感染経路は経口感染であった。

エムポックス 3件 患者 3件 遺伝的系統群はクレード I b* 3件、性別は男性 3件、年齢は20代 1件、30代 1件、40代 1件、推定感染地は国内 2件、スペイン 1件、推定感染経路は接触感染 3件であった。

※組換え体(クレード I とクレード II の遺伝的要素を併せもつ株)が含まれる可能性がある

デング熱 5件 患者 5件、病型はデング熱 4件、デング出血熱 1件、血清型は不明 5件、年齢は20代 3件、50代 2件、推定感染地はフィリピン 2件、カンボジア 1件、ベトナム 1件、スリランカ又はインドネシア 1件であった。

日本紅斑熱 1件 患者、年齢は70代、推定感染地は国内であった。

レジオネラ症 2件 患者 2件、病型は肺炎型 2件、年齢は60代 1件、80代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は不明 2件であった。

全数把握対象疾患 報告数（五類）

分類	対象疾患					
		34週	35週	36週	37週	年累計
五 類 （ 全 数 届 出 ）	アメーバ赤痢	2	2	2	1	67
	ウイルス性肝炎（A型・E型を除く）	1	1			32
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2	3	3	8	96
	急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く）					5
	急性脳炎 ^{*1}	2	1	1	1	32
	クリプトスポリジウム症		1			2
	クロイツフェルト・ヤコブ病			1		11
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	2	2		86
	後天性免疫不全症候群	9	3	6	5	197
	ジアルジア症		1		1	12
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1		1		52
	侵襲性髄膜炎菌感染症					5
	侵襲性肺炎球菌感染症	3	4	3	4	211
	水痘（入院例に限る）	1	2	6	1	89
	先天性風しん症候群					
	多剤耐性緑膿菌感染症 ^{*2}	1			1	23
	梅毒	67	61	57	51	1,968
	播種性クリプトコックス症		2			14
	破傷風					5
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症					
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					7
	百日咳	9	9	5	6	554
	風しん					1
	麻しん		1	1		268
	薬剤耐性アシネトバクター感染症					3
2026/9/16集計						

*1 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、パネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

*2 2026年4月6日より追加指定された。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 1件 病型は腸管外、年齢は70代、推定感染地は不明、推定感染経路は不明であった。

カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 8件 病原菌は*Klebsiella aerogenes* 1件、*Enterobacter cloacae* complex 2件、*Klebsiella pneumoniae* 4件、*Enterobacter cloacae* 1件、年齢は60代 2件、70代 1件、80代 4件、90歳以上 1件、推定感染地は国内 7件、不明 1件、推定感染経路は以前からの保菌 4件、医療器具関連感染 1件（中心静脈カテーテル）、以前からの保菌又は医療器具関連感染（イレウス管又は尿路カテーテル）又は手術部位感染 1件、不明 2件であった。

急性脳炎 1件 病原体はRSウイルス、年齢は5歳未満、推定感染地は国内、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染であった。

後天性免疫不全症候群 5件 病型はAIDS 1件、無症候性キャリア 3件、その他 1件、性別は男性 5件、AIDS患者の年齢は50代、無症候性キャリア及びその他の年齢は20代 2件、30代 2件、推定感染地は国内 5件、推定感染経路は同性間性的接触 5件であった。

ジアルジア症 1件 年齢は30代、推定感染地は国内、推定感染経路は同性間性的接触であった。

侵襲性肺炎球菌感染症 4件 血清型は未実施 4件、年齢は50代 1件、60代 1件、70代 1件、80代 1件、推定感染地は国内 1件、不明 3件、推定感染経路は不明 4件、肺炎球菌ワクチン接種歴は接種なし 2件、不明 2件であった。

水痘（入院例） 1件 病型は臨床診断例、年齢は10代、推定感染地は不明、推定感染経路は不明、水痘ワクチン接種歴は不明であった。

多剤耐性緑膿菌感染症 1件 年齢は50代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明であった。

梅毒 51件 患者 39件（早期顕症梅毒Ⅰ期 13件、早期顕症梅毒Ⅱ期 24件、晩期顕症梅毒 1件、先天梅毒 1件）、無症状病原体保有者 12件、性別は男性 27件、女性 24件、年齢は5歳未満 1件、10代 5件、20代 23件、30代 6件、40代 7件、50代 6件、60代 2件、70代 1件、推定感染地は国内 43件、フィリピン又はタイ又は中国 1件、不明 7件、推定感染経路は性的接触 45件（同性間 3件、異性間 37件、性別不明 5件）、母子感染 1件、性別不明性的接触又はその他 1件、不明 4件であった。

百日咳 6件 年齢は10代 2件、20代 2件、30代 1件、60代 1件、推定感染地は国内 4件、不明 2件、百日咳含有ワクチン接種歴は不明 6件であった。

※第36週該当分として〔四類〕レジオネラ症 1件、〔五類〕梅毒 4件、百日咳 1件の追加報告があった。

定点把握対象疾患 報告数 2026年37週

上段:報告数 下段:定点当たり

定点種別	対象疾患	2026年				報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		34週	35週	36週	37週		
小児科	RSウイルス感染症	146	262	313	393	264	264
		0.60	1.02	1.20	1.49		
	咽頭結膜熱	37	38	48	39		
		0.15	0.15	0.18	0.15		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	183	197	225	247		
		0.76	0.77	0.86	0.94		
	感染性胃腸炎	898	973	1,130	1,042		
		3.71	3.79	4.33	3.95		
	水痘	50	35	35	29		
		0.21	0.14	0.13	0.11		
	手足口病	367	315	287	300		
		1.52	1.23	1.10	1.14		
	伝染性紅斑	3	3	6	7		
		0.01	0.01	0.02	0.03		
	突発性発しん	77	90	90	72		
		0.32	0.35	0.34	0.27		
ヘルパンギーナ	168	238	259	348			
	0.69	0.93	0.99	1.32			
流行性耳下腺炎	12	11	7	15			
	0.05	0.04	0.03	0.06			
川崎病 *1	3	3	2	6			
	0.01	0.01	0.01	0.02			
不明発しん症 *1	16	9	13	16			
	0.07	0.04	0.05	0.06			
急性 呼吸器 感染症	インフルエンザ *2	581	1,091	2,273	3,991	419	419
		1.51	2.66	5.46	9.53		
	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	296	444	764	1,009		
		0.77	1.08	1.84	2.41		
	急性呼吸器感染症 (ARI)	13,408	16,449	20,691	24,921	419	
		34.74	40.12	49.74	59.48		
眼科	急性出血性結膜炎	1	1		1	39	39
		0.03	0.03		0.03		
	流行性角結膜炎	14	19	26	20		
0.39		0.49	0.67	0.51			
基幹	細菌性髄膜炎 *3					25	25
	無菌性髄膜炎	1	3	1			
		0.04	0.12	0.04			
	マイコプラズマ肺炎	10	10	10	13		
		0.40	0.40	0.40	0.52		
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		1	1	2		
			0.04	0.04	0.08		
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス) *4		1				
			0.04				
	インフルエンザ入院	15	33	28	47		
		0.60	1.32	1.12	1.88		
COVID-19入院	24	25	41	26			
	0.96	1.00	1.64	1.04			
2026/9/16 11:00集計							

*1 不明発しん症、川崎病 は東京都独自に指定する疾患である。

*2 鳥インフルエンザを除く。

*3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

*4 病原体がロタウイルスであるものに限る。

黒太字表記:注意報レベル

赤太字表記:警報レベル

(今週の注目される定点把握対象疾患)

- ・ **インフルエンザ**の定点当たり報告数は9.53です。31保健所中14保健所が注意報レベルであり、保健所管内人口の合計が東京都全体の47.87%に達したことで注意報基準を超えました。
- ・ **RSウイルス感染症**の定点当たり報告数は1.49で、増加しています。
- ・ **新型コロナウイルス感染症**の定点当たり報告数は2.41で、増加しています。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2026年37週

	小児科											
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発しん症
～5か月	29			17		6		3	1			
6～11か月	47	3	2	79	1	24		18	25		1	1
1歳	171	13	16	148	2	116		37	83		2	4
2歳	100	9	17	87	3	77	1	10	73		1	1
3歳	30	4	14	82	2	24	2	2	48	2	2	1
4歳	8	4	35	67	5	19	1	1	37	1		1
5歳	4	4	35	76	3	12	1	1	30	4		1
6歳	2	1	19	74	3	9			18	4		1
7歳	1		27	53	3	3	1		7	3		4
8歳			17	43		5	1		8			
9歳			15	37	1	2			10			
10～14歳			34	145	4				3			2
15～19歳	1		4	43	1				1			
20～29歳		1	12	91	1	3			4	1		
30～39歳												
40～49歳												
50～59歳												
60～69歳												
70～79歳												
80歳以上												
合計	393	39	247	1,042	29	300	7	72	348	15	6	16
先週比	80	-9	22	-88	-6	13	1	-18	89	8	4	3

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。

	急性呼吸器感染症			眼科		基幹						
	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	急性呼吸器感染症 (ARI)	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院	COVID-19 入院
～5か月	5	9	1,541					1			1	1
6～11か月	28	16						1			1	
1歳	116	54										1
2歳	116	44	9,199		1			1			1	
3歳	173	29									1	2
4歳	210	40						1			4	1
5歳	264	44	5,837					2	1		1	1
6歳	328	41			1			2			5	1
7歳	304	39			1			1			4	4
8歳	258	39							1			
9歳	213	29			1						2	
10～14歳	625	155	2,273		1			1			7	1
15～19歳	285	88	965		1			1			1	1
20～29歳	180	57	845		4							2
30～39歳	220	69	1,038		4			2			1	2
40～49歳	291	85	1,044		4							1
50～59歳	202	69	892								2	1
60～69歳	102	55	600	1							5	
70～79歳	49	34	431		2						6	4
80歳以上	22	13	256								5	3
合計	3,991	1,009	24,921	1	20			13	2		47	26
先週比	1,718	245	4,230	1	-6		-1	3	1		19	-15

注：急性呼吸器感染症 (ARI) の10歳未満は「0歳」「1～4歳」「5～9歳」と読み替える。

眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数【保健所別】 2026年37週

	小児科											
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病	不明 発しん症
千代田	5.00			1.00		1.00			0.33			
中央区	0.67		0.33	7.33		2.33						0.33
みなと	1.17	0.83	0.67	3.33		1.17		0.50	1.83	0.17		0.17
新宿区	0.50		0.13	1.75				0.13	0.13		0.25	
文京	1.00		0.50	4.00	0.25	0.50	0.25	0.75			0.25	
台東	2.00		0.75	10.75	0.25	1.25		0.25	1.25			
墨田区	0.60		0.20	0.60		1.40			1.60			0.20
江東区	2.67	0.11	0.78	5.11		3.22	0.11	0.67	1.11	0.11		0.11
品川区	1.50		0.38	2.63	0.13	0.75		0.38	0.50			
目黒区	1.00	0.20	0.40	0.80	0.20	1.00		0.20	2.20	0.20		0.20
大田区	1.08	0.23	0.77	3.92	0.15	1.69		0.38	3.69	0.08	0.08	0.08
世田谷	1.63	0.31	0.69	4.19	0.13	1.44		0.19	1.63	0.06		0.06
渋谷区	0.75		0.75	10.00	0.50	0.25		0.25	0.25			
中野区	2.50		1.33	3.67	0.17	0.17		1.00	0.17	0.17		
杉並	0.91	0.09	0.64	3.55					0.09		0.09	
豊島区	4.20		0.20	2.00		0.40	0.20		2.00			
北区	2.43		0.29	2.43	0.29	1.00	0.14	0.14	1.43			
荒川区	4.50		1.50	4.25		2.00		1.00	0.75			
板橋区	0.40		0.70	2.00	0.10	0.80	0.20	0.10	0.10			
練馬区	2.23		1.92	4.62	0.08	0.92		0.23	1.31	0.08		0.08
足立	2.77	0.08	1.31	2.31		0.46		0.31	1.08		0.08	
葛飾区			0.13	3.00		0.13		0.13	0.50			0.25
江戸川	1.67	0.08	2.58	2.75	0.08	0.92		0.25	1.92			0.17
八王子市	0.64	0.45	1.36	5.64		1.00		0.45	2.82	0.09		
町田市	1.38		1.88	10.50	0.50	1.00		0.50	5.75			0.13
西多摩	0.63			1.38		2.63			0.63	0.13		
南多摩	1.78		0.67	4.67	0.11	1.78		0.11	0.67	0.11		
多摩立川	0.71	0.29	1.57	3.29	0.14	0.21		0.07	0.43			
多摩府中	0.52	0.05	0.86	3.05	0.05	1.76		0.33	1.29	0.19		0.10
多摩小平	2.40	0.73	1.20	7.40	0.33	1.73	0.07	0.27	1.07	0.07		0.07
島しょ						5.00			1.00			

東京都	1.49	0.15	0.94	3.95	0.11	1.14	0.03	0.27	1.32	0.06	0.02	0.06
-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

	急性呼吸器感染症			眼科		基幹						
	インフル エンザ	新型コロナウイルス 感染症 (COVID-19)	急性呼吸器 感染症 (ARI)	急性出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院	COVID -19 入院
千代田	7.25	3.25	33.50									1.00
中央区	9.60	1.00	46.20									
みなと	4.11	2.44	51.89								5.00	2.00
新宿区	8.08	1.33	29.83		1.00						1.50	1.00
文京	12.86	2.29	76.14									
台東	10.57	4.86	63.57									
墨田区	9.13	2.88	23.50					1.00			1.00	2.00
江東区	13.43	2.79	58.29									
品川区	7.00	1.25	33.33		1.00							
目黒区	7.00	0.63	33.88									
大田区	8.33	2.90	41.24	0.50				1.00			2.00	1.00
世田谷	8.84	1.92	62.68								5.00	1.50
渋谷区	12.71	2.29	58.43								4.00	
中野区	13.40	1.70	96.70									
杉並	6.06	0.88	33.00		1.00			3.00			2.00	0.50
豊島区	11.38	1.75	59.25		1.00							
北区	13.45	3.91	50.64									
荒川区	13.71	5.14	74.71		1.00							
板橋区	10.56	1.56	43.25								3.00	1.00
練馬区	10.52	2.38	59.71									
足立	6.80	2.40	60.05									
葛飾区	9.69	2.31	50.15		1.00			4.00	1.00		1.00	1.00
江戸川	10.68	2.16	68.63		1.50							
八王子市	9.06	3.72	118.28		2.00							
町田市	17.31	0.85	128.85		2.00							
西多摩	5.93	1.86	28.64					1.00			1.00	
南多摩	8.21	2.79	69.21									
多摩立川	4.38	1.90	37.14		1.50						1.00	1.00
多摩府中	11.55	2.03	65.73		0.33						1.67	1.67
多摩小平	10.48	5.35	82.26						0.50		2.50	2.50
島しょ	1.50	2.00	18.00								2.00	

東京都	9.53	2.41	59.48	0.03	0.51			0.52	0.08		1.88	1.04
-----	------	------	-------	------	------	--	--	------	------	--	------	------

注:表中グレー部分は該当する定点医療機関がない。

定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2026年37週

	小児科											
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病	不明 発しん症
千代田	15			3		3			1			
中央区	2		1	22		7						1
みなと	7	5	4	20		7		3	11	1		1
新宿区	4		1	14				1	1		2	
文京	4		2	16	1	2	1	3			1	
台東	8		3	43	1	5		1	5			
墨田区	3		1	3		7			8			1
江東区	24	1	7	46		29	1	6	10	1		1
品川区	12		3	21	1	6		3	4			
目黒区	5	1	2	4	1	5		1	11	1		1
大田区	14	3	10	51	2	22		5	48	1	1	1
世田谷	26	5	11	67	2	23		3	26	1		1
渋谷区	3		3	40	2	1		1	1			
中野区	15		8	22	1	1		6	1	1		
杉並	10	1	7	39					1		1	
豊島区	21		1	10		2	1		10			
北区	17		2	17	2	7	1	1	10			
荒川区	18		6	17		8		4	3			
板橋区	4		7	20	1	8	2	1	1			
練馬区	29		25	60	1	12		3	17	1		1
足立	36	1	17	30		6		4	14		1	
葛飾区			1	24		1		1	4			2
江戸川	20	1	31	33	1	11		3	23			2
八王子市	7	5	15	62		11		5	31	1		
町田市	11		15	84	4	8		4	46			1
西多摩	5			11		21			5	1		
南多摩	16		6	42	1	16		1	6	1		
多摩立川	10	4	22	46	2	3		1	6			
多摩府中	11	1	18	64	1	37		7	27	4		2
多摩小平	36	11	18	111	5	26	1	4	16	1		1
島しょ						5			1			

東京都合計	393	39	247	1,042	29	300	7	72	348	15	6	16
-------	-----	----	-----	-------	----	-----	---	----	-----	----	---	----

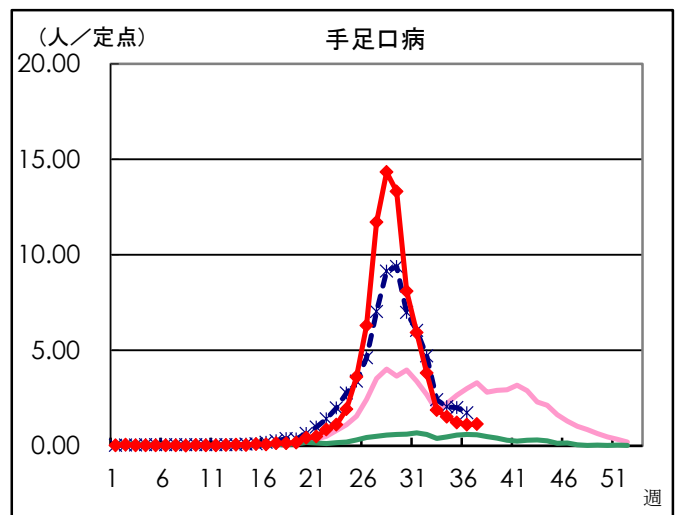
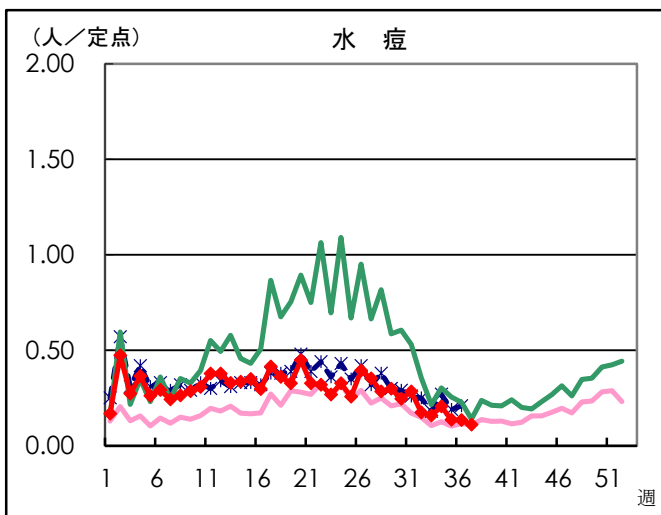
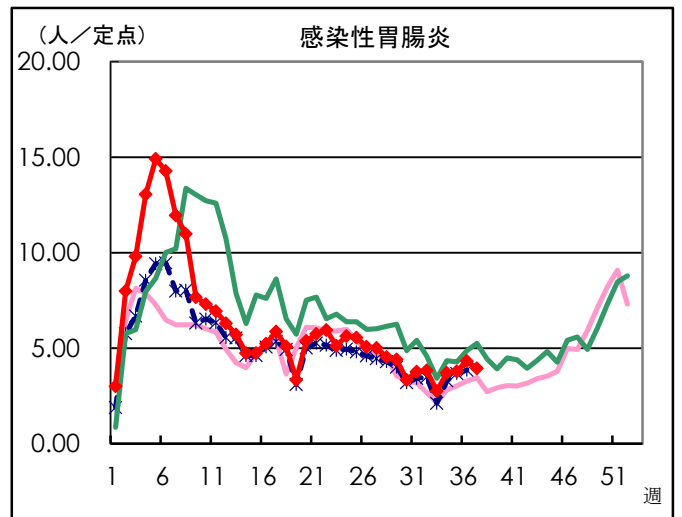
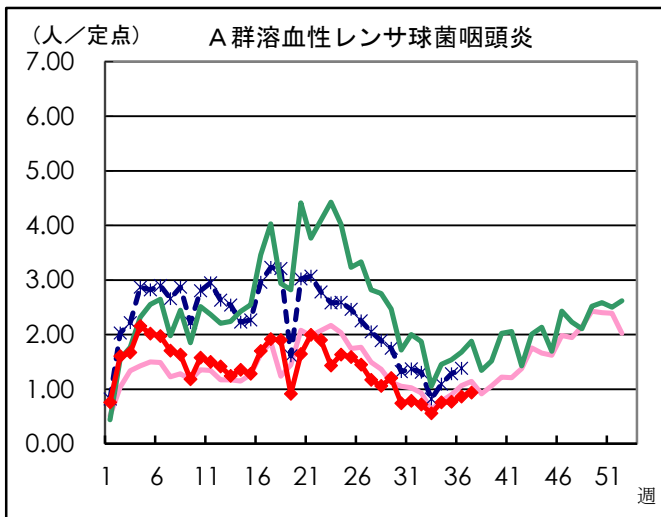
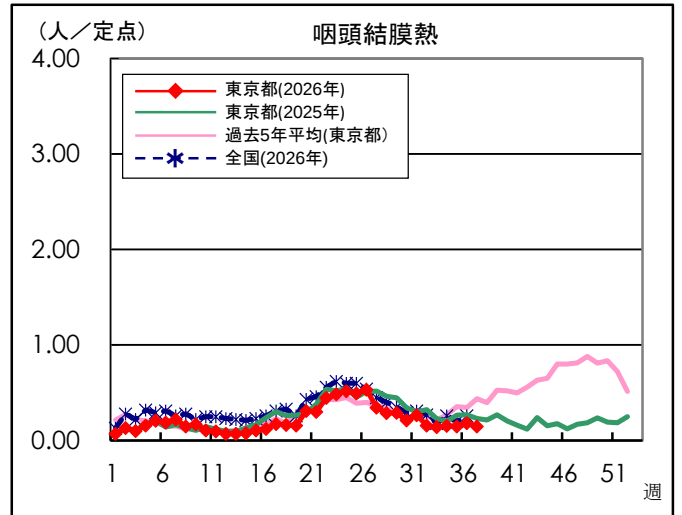
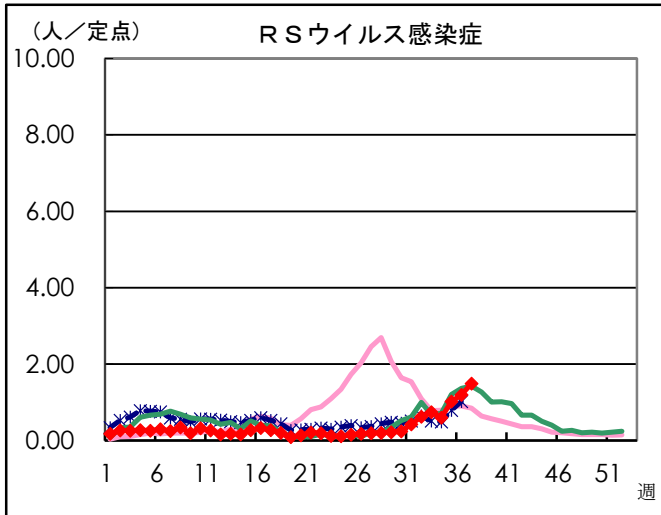
	急性呼吸器感染症			眼科		基幹						
	インフル エンザ	新型コロナウイルス 感染症 (COVID-19)	急性呼吸器 感染症 (ARI)	急性出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院	COVID -19 入院
千代田	29	13	134									2
中央区	48	5	231									
みなと	37	22	467								5	2
新宿区	97	16	358		2						3	2
文京	90	16	533									
台東	74	34	445									
墨田区	73	23	188					1			1	2
江東区	188	39	816									
品川区	84	15	400		1							
目黒区	56	5	271									
大田区	175	61	866	1				1			2	1
世田谷	221	48	1,567								10	3
渋谷区	89	16	409								4	
中野区	134	17	967									
杉並	103	15	561		1			6			4	1
豊島区	91	14	474		1							
北区	148	43	557									
荒川区	96	36	523		1							
板橋区	169	25	692								3	1
練馬区	221	50	1,254									
足立	136	48	1,201									
葛飾区	126	30	652		1			4	1		1	1
江戸川	203	41	1,304		3							
八王子市	163	67	2,129		4							
町田市	225	11	1,675		2							
西多摩	83	26	401					1			1	
南多摩	115	39	969									
多摩立川	92	40	780		3						1	1
多摩府中	381	67	2,169		1						5	5
多摩小平	241	123	1,892						1		5	5
島しょ	3	4	36								2	

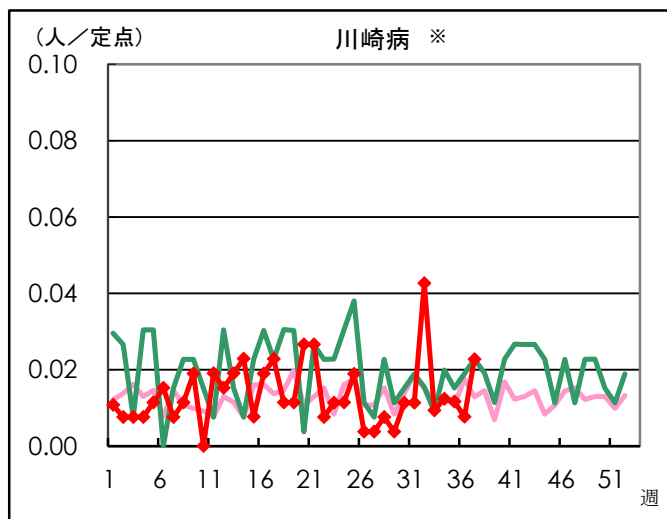
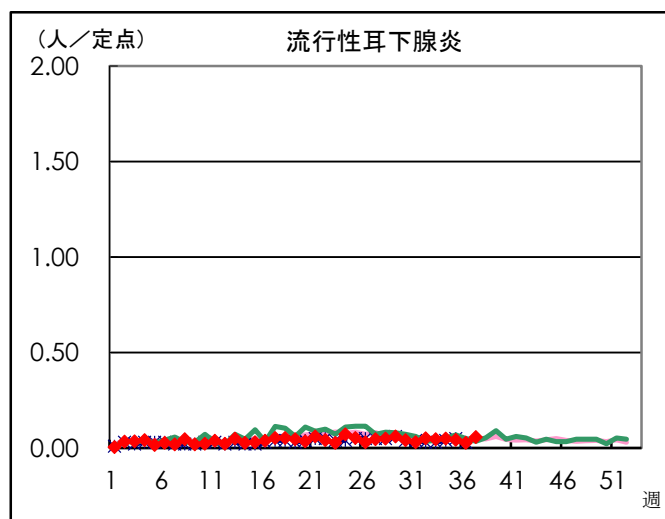
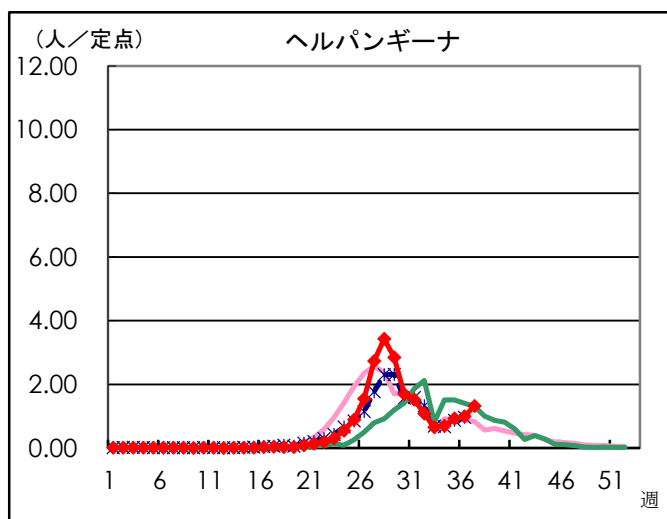
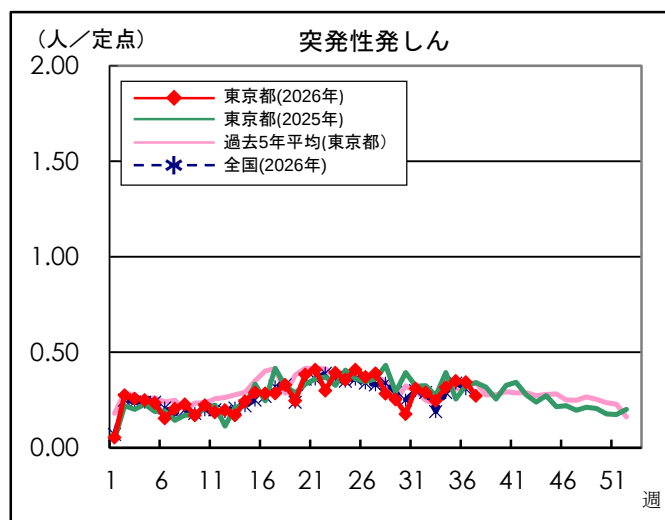
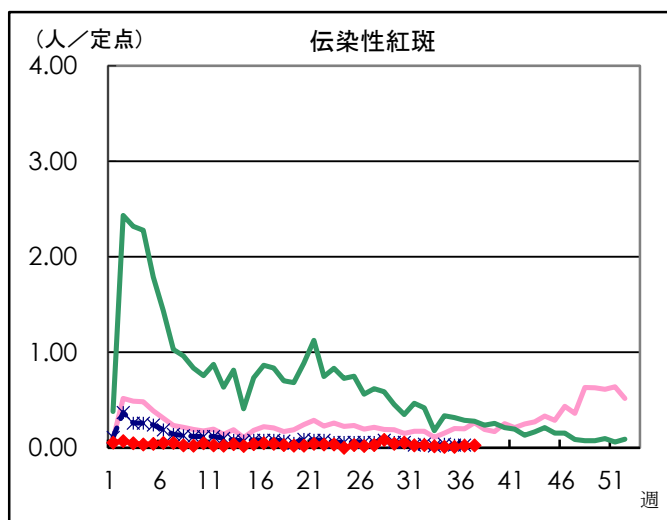
東京都合計	3,991	1,009	24,921	1	20			13	2		47	26
-------	-------	-------	--------	---	----	--	--	----	---	--	----	----

注:表中グレー部分は該当する定点医療機関がない。

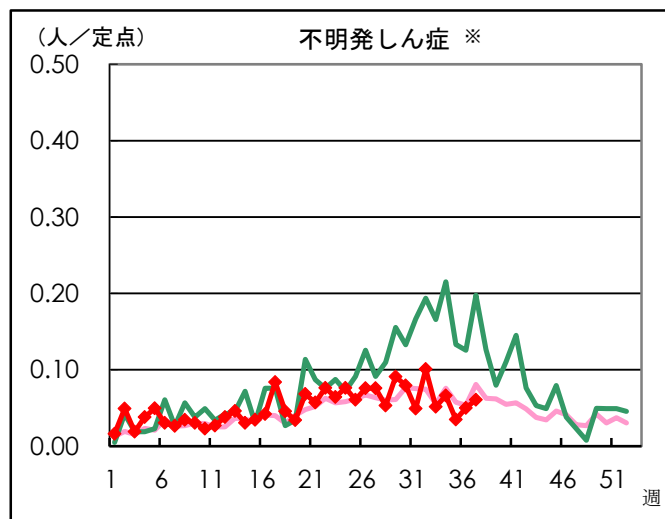
定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数(2026年37週 現在)

◆小児科定点



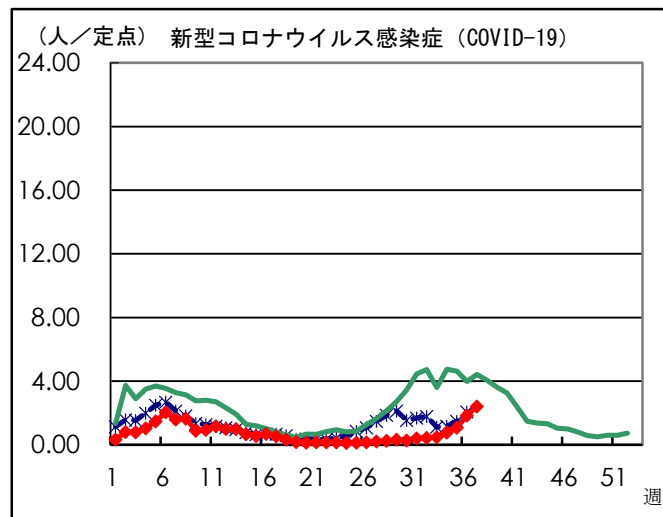
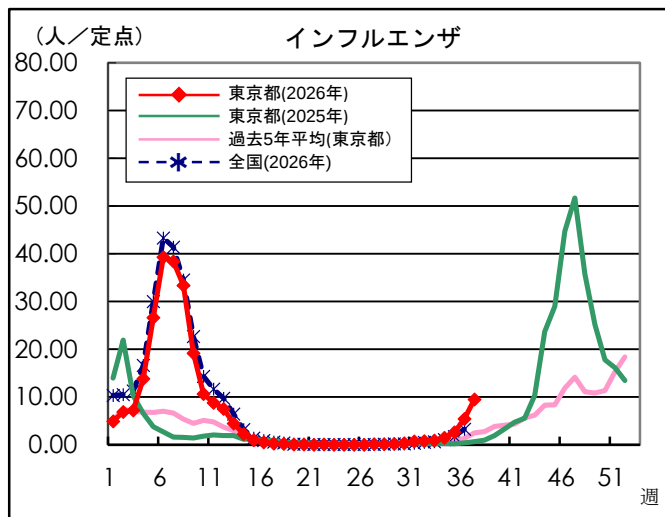


※ 東京都独自対象疾患

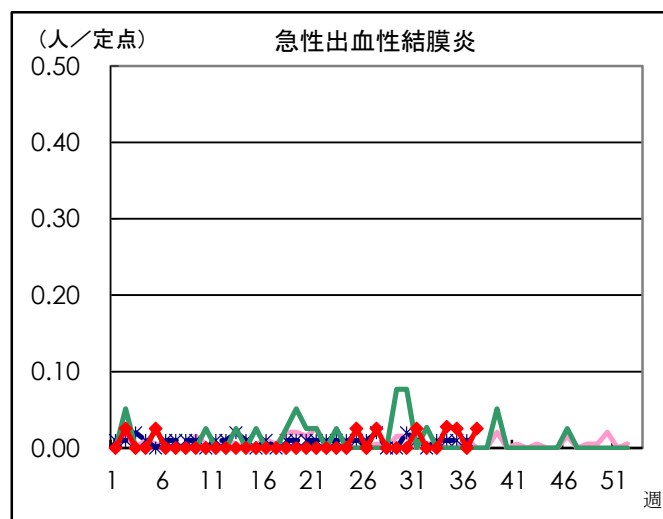
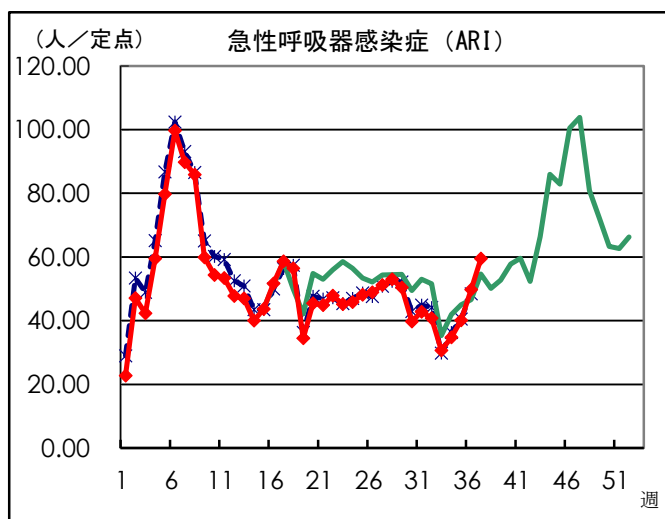


※ 東京都独自対象疾患

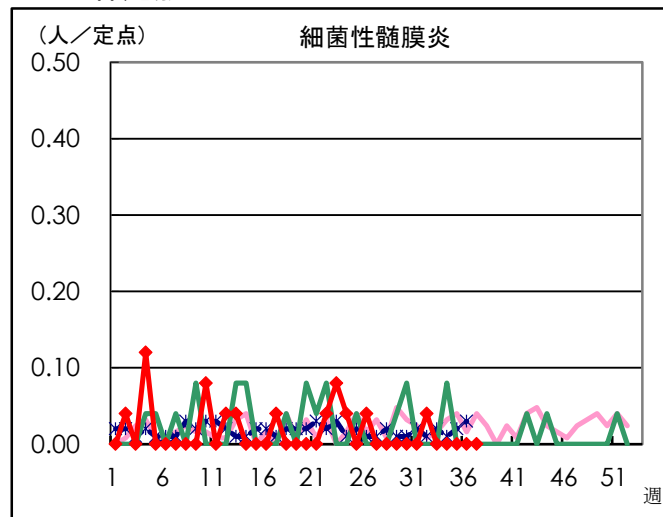
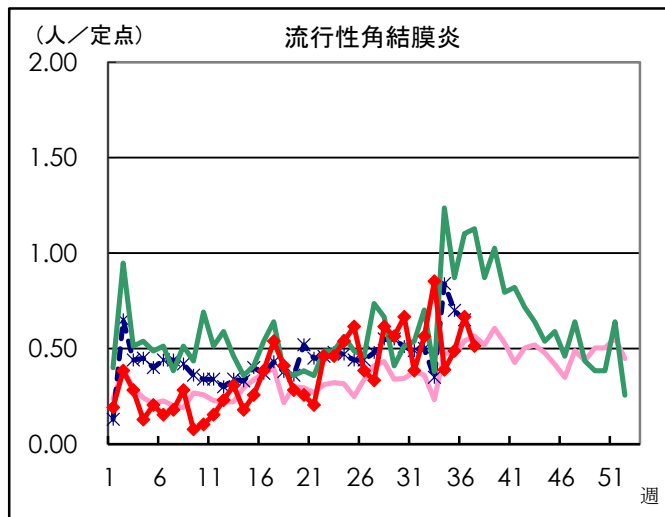
◆急性呼吸器感染症定点



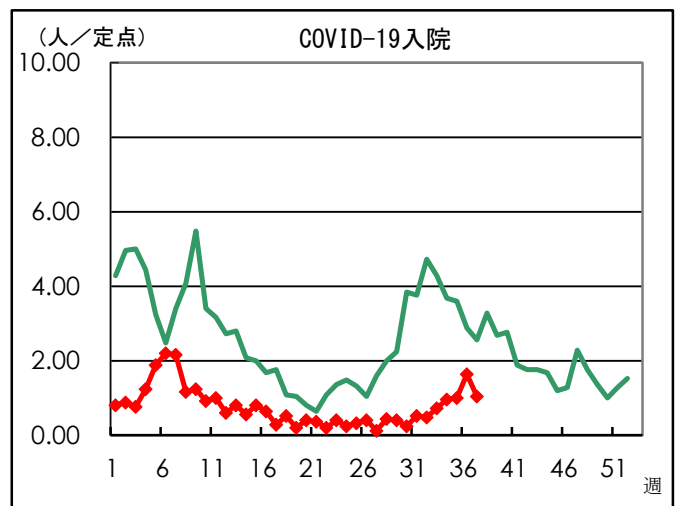
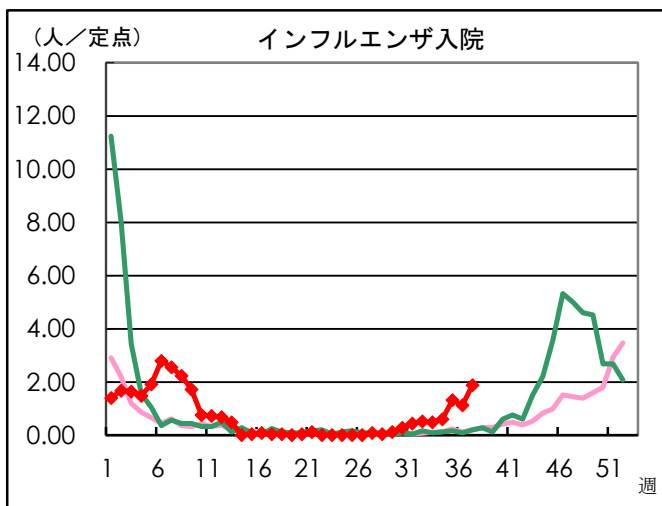
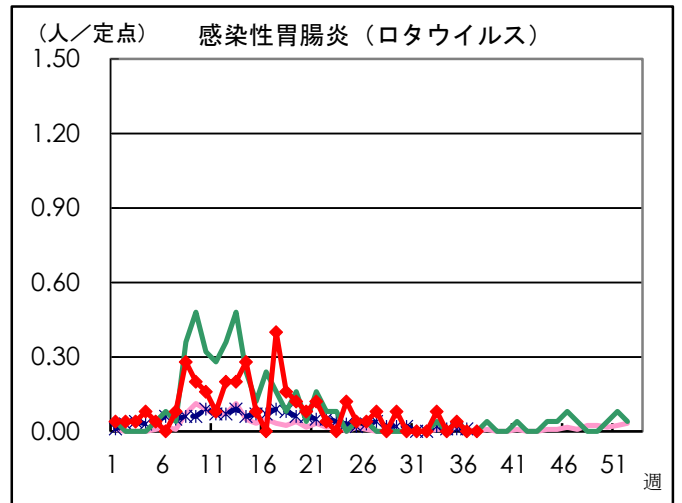
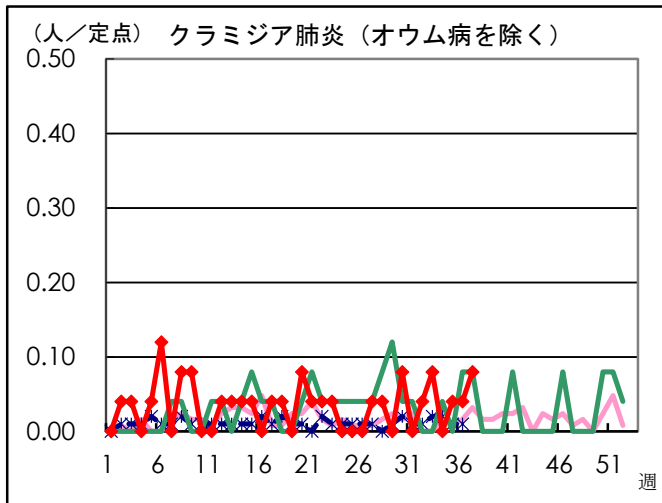
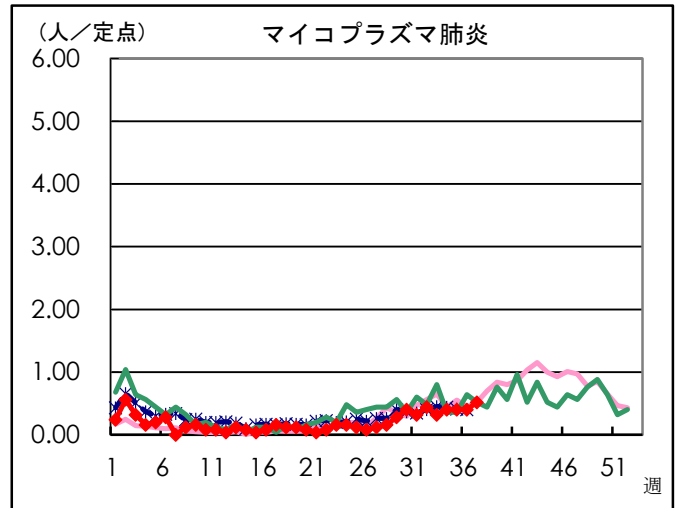
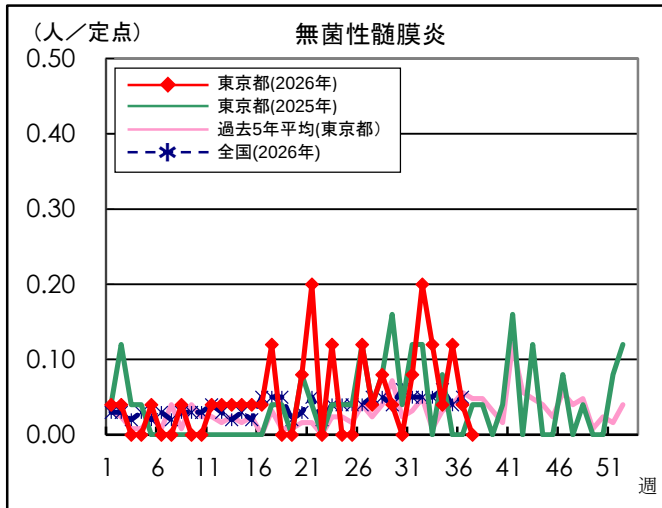
◆眼科定点



◆基幹定点



◆ 基幹定点



定点医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

採取日	臨床診断名	年齢	検査試料	検出病原体
8/10	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T-6型
8/17	急性呼吸器感染症(その他)	1	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスB群4型
8/17	急性呼吸器感染症(その他)	55	鼻咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス3型
8/18	インフルエンザ	25	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1pdm09 [※] ヒメタニューモウイルス
8/18	急性呼吸器感染症(その他)	1	鼻汁	RSウイルスA型
8/18	急性呼吸器感染症(その他)	2	鼻汁	パラインフルエンザウイルス3型
8/18	急性呼吸器感染症(その他)	30	咽頭拭い液	ヒメタニューモウイルス
8/18	急性呼吸器感染症(その他)	62	鼻咽頭拭い液	ライノウイルス
8/18	不明発しん症	2	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群9型
8/19	急性呼吸器感染症(その他)	1	鼻腔拭い液	SARS-CoV-2 RSウイルスA型
8/20	RSウイルス感染症	1	鼻咽頭拭い液	RSウイルスB型 ライノウイルス
8/20	急性呼吸器感染症(その他)	1	鼻咽頭拭い液	ライノウイルス
8/20	急性呼吸器感染症(その他)	1	鼻汁	エンテロウイルス コクサッキーウイルスA群9型
8/20	急性呼吸器感染症(その他)	2	鼻咽頭拭い液	ヒメタニューモウイルス
8/21	RSウイルス感染症	1	鼻腔拭い液	RSウイルスA型
8/21	インフルエンザ	35	鼻咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1pdm09 [※] RSウイルスA型
8/21	急性呼吸器感染症(その他)	1	咽頭拭い液	アデノウイルス1型 エンテロウイルス(型別不能)
8/21	急性呼吸器感染症(その他)	13	鼻咽頭拭い液	エンテロウイルス コクサッキーウイルスA群5型
8/21	急性呼吸器感染症(その他)	94	咽頭拭い液	ヒメタニューモウイルス
8/21	不明発しん症	1	鼻腔拭い液	コクサッキーウイルスA群6型
8/22	急性呼吸器感染症(その他)	8M	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群9型

※ 下記「遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数」の集計数に含まれる。

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

	AH1pdm09	AH3亜型	B型Victoria系統	B型Yamagata系統
2026年34週	7		1	
2025-2026年 シーズン累計*	37	441	289	

* 2025-2026年シーズンの開始は第36週(2025年9月1日～)

※ この他、ワクチンタイプ(経鼻弱毒生ワクチン由来タイプ)がシーズン累計で6件検出された。

病原体検出情報【週別】

検出病原体	2026年							
	27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週
アデノウイルス	7	3	4		1	5		1
コクサッキーウイルスA群	5	9	5	7	2	3		5
コクサッキーウイルスB群								1
エコーウイルス						1		
エンテロウイルス71								
その他のエンテロウイルス	1							3
ライノウイルス	11	6	11	13	6	6	2	3
ヒトメタニューモウイルス	6	3	4	4	6	1	4	4
単純ヘルペスウイルス								
水痘・帯状疱疹ウイルス								
ヒトヘルペスウイルス6型・7型			2		1			
EBウイルス								
サイトメガロウイルス								
ムンプスウイルス								
麻疹ウイルス								
麻疹A型(ワクチンタイプ)								
風しんウイルス								
風しん1a型(ワクチンタイプ)								
ヒトパルボウイルスB19								
RSウイルス	4	3	1	4	2	2	2	5
ノロウイルス								
ロタウイルス								
サポウイルス	1		1					
インフルエンザウイルスAH1pdm09	1	2	3	2	4	2		7
インフルエンザウイルスAH3亜型				2	1			
インフルエンザウイルスB型Victoria系統								1
インフルエンザウイルスB型Yamagata系統								
インフルエンザウイルス(ワクチンタイプ)								
SARS-CoV-2	5	1	2	4	5	2		1
その他のウイルス	15	11	14	10	6	3		2
A群溶血性レンサ球菌T-1型								
A群溶血性レンサ球菌T-3型				1				
A群溶血性レンサ球菌T-4型			1					
A群溶血性レンサ球菌T-12型								
A群溶血性レンサ球菌T-25型								
A群溶血性レンサ球菌T-28型				1				
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型								
A群溶血性レンサ球菌その他のT型	1						1	
A群溶血性レンサ球菌T型別不能								
百日咳菌								
肺炎マイコプラズマ								
肺炎クラミジア								
髄膜炎菌								
B群レンサ球菌								
肺炎球菌								
インフルエンザ菌								
黄色ブドウ球菌								
大腸菌								
その他の細菌								
その他の病原体								

病原体検出情報【臨床診断名別】

2026年27週～2026年34週

	R S ウ イ ル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽 頭 炎	ヘル パ ン ギ ー ナ	イン フル エン ザ	新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 症	急 性 呼 吸 器 感 染 症 (そ の 他)	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 疹	流 行 性 耳 下 腺 炎	川 崎 病	不 明 発 疹	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細 菌 性 髄 膜 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	ク ラ ミ ジ ア 肺 炎
搬入検体数	9	6	3	5	30	13	271	13		17			3		15	1	2				
アデノウイルス	1	2			1		15	1									1				
コクサッキーウイルスA群				3			20			8					5						
コクサッキーウイルスB群							1														
エコーウイルス							1														
エンテロウイルス71																					
その他のエンテロウイルス							3			1											
ライノウイルス	1	1		1	1		48			4					2						
ヒトメタニューモウイルス		1			4		27														
単純ヘルペスウイルス																					
水痘・帯状疱疹ウイルス																					
ヒトヘルペスウイルス6型・7型															3						
EBウイルス																					
サイトメガロウイルス																					
ムンプスウイルス																					
麻疹ウイルス																					
麻疹A型(ワクチンタイプ)																					
風しんウイルス																					
風しん1a型(ワクチンタイプ)																					
ヒトパルボウイルスB19																					
RSウイルス	8				1		14														
ノロウイルス																					
ロタウイルス																					
サポウイルス								2													
インフルエンザウイルスAH1pdm09					18		3														
インフルエンザウイルスAH3亜型					3																
インフルエンザウイルスB型Victoria系統					1																
インフルエンザウイルスB型Yamagata系統																					
インフルエンザウイルス(ワクチンタイプ)																					
SARS-CoV-2						12	8														
その他のウイルス	1			1	1	57	1														
A群溶血性レンサ球菌T-1型																					
A群溶血性レンサ球菌T-3型							1														
A群溶血性レンサ球菌T-4型			1																		
A群溶血性レンサ球菌T-12型																					
A群溶血性レンサ球菌T-25型																					
A群溶血性レンサ球菌T-28型							1														
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型																					
A群溶血性レンサ球菌その他のT型			2																		
A群溶血性レンサ球菌T型別不能																					
百日咳菌																					
肺炎マイコプラズマ																					
肺炎クラミジア																					
髄膜炎菌																					
B群レンサ球菌																					
肺炎球菌																					
インフルエンザ菌																					
黄色ブドウ球菌																					
大腸菌																					
その他の細菌																					
その他の病原体																					

<感染症豆知識>

人獣共通寄生虫 トキソプラズマ

妊婦に知って欲しい感染症に先天性トキソプラズマ症がある。妊娠中の初感染により胎児に経胎盤的に感染することで、流死産、網脈絡膜炎による視力障害、水頭症、脳内石灰化、精神運動機能障害等を引き起こす。主な感染経路は猫の糞で汚染された土壌への接触と生ハムや加熱不十分な肉類の摂取であり、ガーデニングや砂場では手袋を使用すること、猫のトイレ掃除は他者にまかせる、肉類は十分に加熱すること等は半ば常識となりつつある。

トキソプラズマの感染率は、全世界人口の 1/3、日本では 10%程度と推定されており、最も感染拡大が成立した人獣共通寄生虫であるかもしれない。トキソプラズマはネコ科動物を終宿主、ネズミや鳥、家畜などを中間宿主としているが、終宿主であるネコ科動物の腸内でのみ有性生殖を行うため、最終的にはネコ科動物の体内に戻らないと生活環が完結されない。

その生活環を完結させるために、寄生虫が宿主の行動を変化させる現象が「宿主操作」である。トキソプラズマに感染したネズミの猫に対する警戒心の低下はよく知られている例である。ネズミは生得的に猫の尿臭や体臭に強い忌避反応を示すが、感染個体では警戒行動が弱まり、場合によっては接近する「致死的誘引」に至り、捕食されやすくなるというものである。

トキソプラズマ感染により、狼が群れのリーダーになるオッズが 46 倍、出生群から離れて行動するオッズが 11 倍高かったという報告もある。またネコ科のピューマの生息域と行動圏が重なる個体ほど感染率が高かった。この結果は寄生虫の感染が個体行動から群衆・生態系レベルへ波及する可能性を示す点で興味深い。

ヒトにおいても感染と性格傾向、事故リスク、精神・神経疾患との関連を示す研究があるが、多くは統計的相関であり生活環境や社会的要因等の交絡因子を排除できず、今後の更なる研究が待たれる。

(文責 きりんウィメンズクリニック武蔵野 (東京産婦人科医会) 武知公博)